

茨城大学大学院 都市システム工学専攻 平成29年度後期 専攻教育点検報告書

平成30年3月22日

報告者 都市システム工学科 専攻長 小林 薫

1. 実施日時と場所

平成30年3月22日(木) 11:45～12:30 S2棟3F会議室

2. 出席者

常勤教員：呉智深，金利昭，桑原祐史，小林薫，沼尾達弥，信岡尚道，原田隆郎，山田稔，横木裕宗，榎本忠夫，久野靖広，熊澤貴之，車谷麻緒，成田和彦，平田輝満，藤田昌史，辻村壮平，一ノ瀬彩，増永英治（常勤教員のうちの欠席者：なし）

非常勤教員：神下栄

技術職員，事務職員：なし

3. 添付資料

資料1 会議議事録

資料2 2017年度(平成29年度)学科・専攻教育改善委員会およびFD研修会 議事次第

資料3 2017年度(平成29年度)後期授業点検改善表資料集

4. 授業点検の実際

4.1 アンケート実施状況

点検評価に先立って実施した，授業アンケートの回収状況は以下のとおり。

常勤教員担当科目分： 14科目／常勤教員担当科目総数14科目

4.2 点検した科目

交通計画特論，沿岸形成工学特論，建築材料学演習，建築材料学特論，建築環境デザイン演習，建築都市デザインスタジオ3，社会基盤情報処理特論，都市システム工学特別演習Ⅱ，都市システム工学特別研究Ⅱ，サステナビリティ学特別演習Ⅱ，サステナビリティ学特別研究Ⅱ，都市システム工学専攻学外実習，ワークショップ，建築実務実習の14科目

(後期に開講した科目の総数14科目中の100パーセント。)

4.3 具体的な点検方法

後期に開講した14科目について，以下の方法で点検を実施した。各科目の具体的な点検結果は，資料1 会議議事録の「6. 後期専攻各科目の点検と評価」を参照のこと。

- ・ 各科目について、担当教員が授業の内容や課題等をシラバスに基づいて紹介するとともに、会議出席者と質疑を行い、当該授業の課題等を明確にする。その後、授業点検改善表及び授業アンケートの集計結果等で指摘が挙げられた点を中心に、授業方法の優れている点、改善すべき点について自己評価を行う。以上を3分間程度を目安に実施した。
- ・ 複数教員が異なるテーマで授業実施をする科目では、必要に応じて複数担当者から上記の点検内容を補足しあった。
- ・ 前年度の点検評価で出された各科目の課題・問題に対する対応実績について、授業点検改善表を用いて各出席者が確認した。
- ・ 実験・実習では、授業準備やレポートの採点の補助、学生からの質問への対応にTAを活用していることを、TA利用の実績やその効果について記載された実施報告書を授業記録ファイルに収録したものを回覧し出席者で確認した。

5. 点検評価の結果

5. 1 昨年度の点検評価で出された改善策のフォローアップ

特になし

5. 2 今回の授業方法で優れている点

- ・ 建築実務実習における履修者は3名であったが、うち2名は自らインターンシップ先を探してきた。自主性を深められた。

5. 3 今回の授業方法で改善すべき点

- ・ 都市システム工学特別演習Ⅱ，都市システム工学特別研究Ⅱ，サステナビリティ学特別演習Ⅱ，サステナビリティ学特別研究Ⅱでは、資料にチェックされているエビデンス（学会発表記録等，ボールペン等で書かれた研究ノートや手書きのメモ等も）を各研究室で保存・保管しておかなくてはいけないことが改めて確認された。
- ・ 都市システム工学専攻学外実習では、キャリア支援室に情報が集まって、学生にダイレクトでメールが流れるものが多かったので、把握が難しいものもいくつかあった。本年度はあまりうまくいっていなかった印象があり、その点が反省点である。
- ・ 授業方法ではないが、建築実務実習における点検資料では全ての設問の回答に対して「課題は特になし」となっているが、問題がなくても“今より良くする”という視点で捉えてきちんと記載すべきというコメントがあった。

6. 教育改善活動

- ・ 都市システム工学専攻学外実習では、キャリア支援室との密な連携が必要である。
- ・ 建築都市デザインスタジオ3においては、建物の設計と構造・環境的な側面(意匠レベル)まで取り組ませている。プログラムの提案から実物の建物の設計を繋げるような課題を意

識して授業を進めた。今後の改善点として、課題設定が現実的な取り組みなので、行政にも声掛けして、本科目に繋げていけるように取り組んでいく。

- ・ 建築実務実習において、インターン先を増やしていく取り組みを行っているので、次年度はさらにその点を改善していく。

7. 報告書の開示

この報告書と同じ内容の書類を学科事務室に備え、学科の全教員が自由に閲覧できるようにする。また、報告書が確定した後で、学科ホームページの「JABEE への取り組み」ページで公開する。

8. その他

特になし。